
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2008年4月22日号

©2008年3月大豆市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年3月における大豆市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

- 1 農民の栽培積極性が比較的向上したものの、干ばつの影響は軽視できず
大豆価格の大幅な上昇を受け、今年は農民の大豆栽培の積極性が比較的高くなっている。現在、主産地ではちょうど春の大豆播種またはその準備の時期にあるが、東北地区では干ばつが深刻で、大豆播種には不利な条件にある。
- 2 1～2月の大豆および大豆油輸入量は増加、大豆粕輸出量は減少
2008年1～2月の中国の大豆輸入量は前年同期比51.4%増の546.4万トン、輸出量は同60.1%増の12.2万トンとなった。大豆油輸入量は同37.3%増の50万トン、輸出量は同15.3%増の1.3万トンとなった。また、大豆粕輸入量は同2.2倍増の4.5万トン、輸出量は30.7%減の9.2万トンとなった。大豆の輸入暫定関税率（1%）の適用期限が、2008年9月30日まで延期されたことから、大豆輸入量は、2008年下期に入っても比較的高水準を維持するものと予測されている。
- 3 今年度の世界の大豆需給はひっ迫、3月の国際価格は高水準ながら下落
米国農務省（USDA）の予測によると、2007/08年度の世界の大豆生産量は前年度比7.3%減の2.2億トン、消費量は同5.0%増の2.36億トンと見積もられている。うち大豆油

の压榨消費は同5.3%増の2.06億トンとみられている。消費量が生産量を上回るため、期末在庫量は同25.0%減の4,744万トンまで減少するものと予測され、世界の大豆需給は比較的ひっ迫する状態が続くとみられている。

2008年3月初めの国際市場における大豆および大豆製品価格は上昇が続き、かつ史上最高を更新したが、中・下旬には大幅に下落した。3月24日の米国シカゴ取引所における大豆価格総合指数は1トン当たり454ドルで、3月初めの最高価格に比べ19.2%安、前月比15%安となったが、前年同月比では59.8%高であった。大豆油価格総合指数は同1,247.2ドルで、前月比12.7%安、前年同月比74.4%高となった。大豆粕価格総合指数は同350.7ドルで、前月比14.1%安、前年同月比41.4%高となった。3月のUSDAの予測は、前月のそれに比べ、世界の期末在庫量などの予測値が増加修正され、これに投機資金の要素も加わり、3月中・下旬の大豆価格大幅に下落した。

4 国内価格は上昇後に下落、輸入大豆および国産大豆の価格は同程度

国際市場の影響を受け、2008年3月初めの国内大豆および大豆製品価格は上昇を続け、史上最高を更新したが、中・下旬には下落し始めた。3月21日の黒龍江省における搾油用大豆の買付価格は1トン当たり4,720円で、3月初めの最高価格に比べ17.5%安、前月比4.2%高、前年同月比76.3%高となった。山東省の四級大豆油の工場出荷価格は12,400円で、前月比20.4%高、前年同月比67.8%高となった。山東省の中等大豆粕の工場出荷価格は同3,738円で、前月比1.1%安、前年同月比65.2%高となった。

2008年3月下旬の山東地区の輸入大豆の通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）と、当地の国産大豆の仕入価格は同程度であった。